

## 日本国総理大臣とポルトガル共和国首相による共同コミュニケ（骨子）

### 1 前文

- 日本国内閣総理大臣による初のポルトガル訪問の機会に、両国首脳間で二国間関係の深化と共通のアジェンダを一層発展させる方途について意見交換。
- 民主主義、人権の尊重、法の支配などの価値と原則の共有。
- 経済成長の軌道に戻りつつあることに留意。アフリカ、中南米、アジア等へのビジネス展開の拠点としての両国の可能性を強調。
- 日EU・EPA（経済連携協定）交渉の迅速かつ成功裡の締結、世界貿易機構（WTO）下での多角的貿易体制の重要性、戦略的パートナーシップ協定（SPA）締結の重要性を確認。
- 国連海洋法条約を含む国際法に従って公海における自由の確保と維持の重要性を再確認。
- ポルトガルは、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から平和と安定に向けた国際的努力に積極的に寄与する日本の意思を歓迎。

### 2 両国共通のアクション ※両国首脳は次の点において、共同行動をとることで一致。

#### （1）政治及び安全保障

- ハイレベルの政治交流の推進。両国外務省の間の政策対話の継続
- 両国防衛当局間での海上防衛問題の経験共有の機会の探求
- 両国の担当当局間で、欧州海上保安機関（EMSA）との将来的な協力も念頭においた海上の安全及び環境分野での協力
- 開発途上国における女性のエンパワーメントの推進に向けた協力。女性のエンパワーメントに関する国際的行事の成功に向けポルトガルが貢献。
- 2015年第3回国連防災世界会議の成功に向けた協力

#### （2）経済

- 日本貿易振興機構（JETRO）とポルトガル投資貿易振興庁（AICEP）の間の協力促進
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）とのスマート・コミュニティ協力強化
- 食品、農産品、畜産品分野での協力促進。食料・飼料中の放射性核種に対する制限措置のEUによる見直しは、科学的根拠に基づき行われるべきとの理解を歓迎。
- 第三国でビジネスを行う両国企業の支援。両国当局間での観光促進の取組事例の共有。

#### （3）文化・学術協力及び人的交流

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ交流の促進。
- ワーキング・ホリデー制度導入に向けた交渉開始
- 5世紀に亘る歴史に基づく両国史料館同士の交流強化

#### （4）地域的・国際的協力

- 両国在外公館間の意見交換、一層の調整の推進。開発途上国における協力
- 日本のポルトガル語圏諸国共同体（CPLP）へのオブザーバー参加の意図を歓迎
- 日本とポルトガル、欧州連合（EU）の相互理解と協力促進を目指した会合の共催

### 3 結び

パッソス・コエーリョ首相を訪日招請。同首相は訪日の意向を表明。